

2015年度 支部共通事業 日本建築学会設計競技応募要項 課題「もう一つのまち・もう一つの建築」

〈主催〉 日本建築学会
〈後援予定〉 日本建築士会連合会、日本建設業連合会
日本建築士事務所協会連合会、日本建築家協会、

〈主旨〉 2020年、東京オリンピック開催が予定されている。これに伴い、首都圏では新国立競技場に代表される大規模な建築群が計画され、再び資本の集中が始まろうとしている。一方、成熟社会、少子高齢化を迎えた現在、地方の人口減少による過疎化、ローカル線の廃線、ロードサイドショップ、大型商業施設の郊外化に伴う駅前商業地や中心市街地、中心商店街の空洞化によりまちの活気が失われている。総務省の統計によると全国の空き家数は820万戸、空き家率は13.5%で昨年度より0.4ポイント上昇しており今後、益々、上昇傾向にあると予測されている。

現在から50年程前に遡って見よう。1964年の東京オリンピックでは、戦後復興から我が国の高度経済成長期に重なり、新幹線や首都高速道路の建設など交通インフラと関連する施設建設が未曾有の速さで整備され、これを機に首都圏へ人口の一極集中が始まった。一方、経済成長に伴い地方都市では経済優先の都市開発が行われ、鉄道駅を中心とした均質化した商業地域、中心市街地、行政地域を核としたまちの骨格が形づくられ、住宅地は宅地開発により都市周辺にスプロールしていった。経済的合理性、効率性や利便性を求めたこの半世紀の歩みのなかで私たちは失ったものも多い。地方のまちの中心市街地は海や山、川など自然の豊かな環境が身近にあり、また歴史が培った文化やコンパクトな交通インフラも備わっている。地方都市には小ささゆえの良さがある。

「幸福度」という指標がある。これは主観的な「幸福度」の程度のことであり、具体的には経済社会状況/健康/ライフスタイル、家族や地域、自然とのつながりの関係性/が挙げられる。「幸福度」の国際比較を見ると、我が国は中位で先進国の中では最下位辺りの位置付けとなっている。まちの在り方や建築を通して、豊かな生活とはなにかを改めて問うてみたい。現在のまちを再開発するのではなく、50年前に遡ってリセットして、現在あるべき「もう一つのまち・もう一つの建築」を構想してください。

審査委員長 石田敏明

〈応募規程〉

A. 課題

「もう一つのまち・もう一つの建築」

B. 条件

実在の場所（計画対象）を設定してください。

C. 要求図面および提出資料

①提出資料：提出資料の用紙はA1サイズ2枚（594×841mm）とします。なお、サイズ厳守、変形不可、2枚つなぎ合わせることは不可です。提出資料の裏面には、それぞれの番号を付けてください（No.1, No.2と明記）。仕上げは自由としますが、写真等を貼り付ける場合は剥落しないように注意してください。なお、パネル、ボード類は使用しないでください。模型、ビデオ等は受け付けません。

②要求図面等：要求図面は、配置図、平面図、断面図、立面図、透視図です（縮尺明記のこと）。提出資料には要求図面のほか、計画対象の現状や計画条件を図や写真等を用いて解説したものと、設計主旨（600字以内の文章にまとめ、10ポイント以上の文字で提出資料中に記入）、模型写真等を自由に組み合わせ、わかりやすく表現してください。

③提出資料とは別に、上記②の設計趣旨をA4判用紙1枚（縦使い）に印刷して提出してください。

④上記のほかにデータ類として、(1)2枚の提出資料の内容をそれぞれ350dpiのPDFファイルとしたもの、(2)設計主旨の要約（200字以内）のテキストデータ、(3)顔写真（横4cm×縦3cm以内：顔が写っているものに限る）のデータ、を納めたDVDまたはCDを1部提出してください。

※提出資料及びデータ類は、全て無記名としてください。

なお、④は審査対象の資料としては使用せず、入選後の作品集の原稿の一部として使用いたします。

D. その他注意事項

①図面および設計主旨の概要文用紙には、応募者の氏名・所属などがわかるようなものを記入してはいけません。

②応募作品は、ほかの設計競技等と二重応募になる作品、あるいはすでに発表された作品は応募できません。

③応募作品は、本人の作品でオリジナルな作品であることを要求します。

E. 応募資格

本会個人会員とします。

F. 提出方法

①所定の応募申込書（本会ホームページから入手して下さい。<http://www.ajj.or.jp/jpn/symposium/2015/compe.pdf>）主旨概要文用紙（A4サイズ）を入れた封筒と図面と提出資料を一括して提出してください。なお、受領通知が必要な方は、受領通知返信ハガキ（官製ハガキに代表者の住所・氏名記入のこと）を同封してください。

②応募作品は1案ごとに別々に提出してください。

③締切期日：2015年6月26日(金) 必着 (17:00 まで)

④提出先：計画対象の所在地を所轄する本会各支部の事務局とします。

たとえば、関東支部所属の応募者が、東北支部所轄地域内に場所を設定した場合は東北支部へ提出してください。ただし、海外に場所を設定した場合は、応募者が所属する支部へ提出してください。

⑤各支部事務局 所在地一覧

・北海道支部 (北海道)

〒060-0004 札幌市中央区北4条西3丁目1
北海道建設会館6階

TEL. 011-219-0702

・東北支部 (青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島)

〒980-0011 仙台市青葉区上杉1丁目5番地15号
日本生命仙台匂当台南ビル4階

TEL. 022-265-3404

・関東支部 (茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、
神奈川、山梨)

〒108-8414 港区芝5丁目26番20号

TEL. 03-3456-2050

・東海支部 (静岡、岐阜、愛知、三重)

〒460-0008 名古屋市中区栄4丁目3番26号
昭和ビル5階

TEL. 052-243-6244

・北陸支部 (新潟、富山、石川、福井、長野)

〒920-0863 金沢市玉川町15丁目1番地
パークサイドビル3階

TEL. 076-220-5566

・近畿支部 (滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山)

〒550-0004 大阪市西区靱本町1丁目8番4号
大阪科学技術センター内

TEL. 06-6443-0538

・中国支部 (鳥取、島根、岡山、広島、山口)

〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47 広島県情報
プラザ5階 広島県建築士会内

TEL. 082-243-6605

・四国支部 (徳島、香川、愛媛、高知)

〒782-0003 高知県香美市土佐山田町宮ノ口185
高知工科大学地域連携棟201

TEL. 0887-53-4858

・九州支部 (福岡、佐賀、長崎、熊本、宮崎、大分、
鹿児島、沖縄)

〒810-0001 福岡市中央区天神4-7-11
クレアビル5階

TEL. 092-406-2416

G. 審査方法

①支部審査

各支部に集まった応募作品を支部ごとに審査し、応募数が15点以下は応募数の1/3程度、16~20点は5点を支部入選

とします。また、応募数が20点を超える分は、5点の支部入選作品に支部審査委員の判断により、応募数5点ごと(端数は切り上げ)に対し1点を加えた点数を上限として支部入選とします。

②全国審査

支部入選作品をさらに本部に集め全国審査を行い、H項の全国入選作品を選出します。

1. 全国1次審査会 (非公開)

全国2次審査進出作品のノミネートとタジマ奨励賞を決定します。

2. 全国2次審査会 (公開)

ノミネート者によるプレゼンテーションを実施し、その後最終審査を行い、各賞と佳作を決定します。なお、代理によるプレゼンテーションは認めません。(タジマ奨励賞のプレゼンテーションはありません)

日時：9月4日(金) 10:00~15:00

場所：東海大学(大会会場：神奈川県平塚市北金目4-1-1)
プログラム(予定)

10:00~ 開場

10:15~12:00 ノミネート者によるプレゼンテーション
(発表時間8分間/PCプロジェクターは主催者側で用意
します。コンピューター等は各自で用意してください。)

13:00~15:00 公開審査

16:15~17:00 表彰式

(プログラムは、大会スケジュールにより時間が多少前後する場合があります。)

③審査員 (敬称略順不同)

〈全国審査員〉

委員長：石田 敏明 (前橋工科大学教授)

委員：赤松佳珠子 (シーラカンズアンドアソシエイツ
代表取締役/法政大学准教授)

鱒坂 徹 (鹿児島大学大学院教授)

岩田三千子 (摂南大学教授)

竹内 徹 (東京工業大学教授)

三谷 徹 (千葉大学教授)

横山 天心 (富山大学講師)

〈支部審査員〉

●北海道支部

川人 洋志 (北海道科学大学教授)

赤坂真一郎 (アカサカシンイチロウアトリエ代表取締役)

小西 彦仁 (ヒココニシ設計事務所代表取締役)

山田 良 (札幌市立大学准教授)

山之内裕一 (山之内建築研究所代表)

●東北支部

櫻井 一弥 (東北学院大学教授)

手島 浩之 (都市建築集団/UAPP 代表取締役)

増田 聡 (東北大学教授)

福屋 粧子 (東北工業大学講師)
坂口 大洋 (仙台高等専門学校教授)

●関東支部

伊藤 博之 (伊藤博之建築設計事務所代表)
小岩 正樹 (早稲田大学准教授)
藤野 敏幸 (日総建執行役員企画開発設計本部設計部長)
銚岩 崇 (佐藤総合計画第一設計室副室長)
宮部 浩幸 (SPEAC パートナー)

●東海支部

谷田 真 (名城大学准教授)
高木 清江 (愛知産業大学准教授)
脇坂 圭一 (名古屋大学准教授)
早川 紀朱 (中部大学准教授)
曾我 裕 (竹中工務店名古屋支店設計部専門役)

●北陸支部

西村 伸也 (新潟大学教授)
鈴木 晋 (新潟大学大学院非常勤講師)
竹林 正宏 (富山県建築住宅センター専務理事)
中森 勉 (金沢工業大学教授)
矢尾 憲一 (ヤオ設計代表)
梅干野成央 (信州大学准教授)

●近畿支部

加賀尾和紀 (鴻池組設計本部建築設計第2部課長)
角田 暁治 (京都芸工織維大学大学院准教授)
北村 潤 (東畑建築事務所設計部シニアアーキテクト)
小林 直紀 (安井建築設計事務所設計部部長)
松本 明 (近畿大学教授)

●中国支部

岡河 貢 (広島大学工学部准教授)
小川 晋一 (近畿大学教授)
松本 静夫 (前福山大学教授)
村上 徹 (広島工業大学教授)

●四国支部

内野 輝明 (内野設計代表)
恵谷 益行 (四電技術コンサルタント建築部部長)
平山 昌信 (艸建築工房代表)
松浦 洋 (松浦設計代表)

●九州支部

池添 昌幸 (福岡大学准教授)
大谷 直己 (PARA-DESIGNLAB 代表取締役)
木方 十根 (鹿児島大学教授)
下田 貞幸 (熊本高等専門学校教授)
鶴崎 直樹 (九州大学准教授)

H. 賞および発表

①賞

1. 支部入選者：支部長より賞状および賞牌を贈ります(ただし、全国入選者は除く)。
2. 全国入選者：次のとおりとします。
 - 最優秀賞 2点以内
賞状・賞牌・賞金(計100万円)
 - 優秀賞 数点
賞状・賞牌・賞金(各10万円)
 - 佳作 数点
賞状・賞牌・賞金(各5万円)
(授与は合計で12点以内とします。)
3. タジマ奨励賞：10点以内 賞状・賞牌・賞金(各10万円)(タジマ奨励賞は、タジマ建築教育振興基金により、支部入選作品の中から、準会員の個人またはグループを対象に授与します。)

注：賞金は、すべて税込みです。

②入選の発表

1. 入選の発表
支部審査の結果：各支部より応募者に通知(8/5以降)。
全国審査の結果：支部入選者には、全国1次審査結果を8月上旬に通知。
全国入選作品、審査講評：建築雑誌2015年11月号誌上発表。
全国入選作品展示：大会会場にて開催。
2. 支部入選者賞の贈呈：各支部による。
全国入選者表彰式：9月4日(金) 東海大学(大会会場)

I. 著作権

入選作品の著作権は、入選者に帰属します。

ただし、建築学会がこの事業の主旨に則して入選作品を会誌またはホームページへの掲載、図書の出版、展示などの公表のために用いる場合、入選者は無償で作品データ等の使用を認めることとします。

J. その他

- ①応募作品は、返却致しません。必要な方は作品の控えと作品データを保管して下さい。
- ②質疑は受け付けません。
- ③応募規程に違反した場合は受賞を取り消すことがあります。

K. 申込問い合わせ (本部・支部事務局)

日本建築学会 各支部事務局 設計競技担当 (F⑤参照)
日本建築学会 本部事務局 設計競技担当
〒108-8414 東京都港区芝 5-26-20
TEL. 03-3456-2056

2015年度 日本建築学会設計競技
「もう一つのまち・もう一つの建築」応募申込書

応募支部	支部 (設定地 :)	タジマ奨励賞対象者※2	整理番号	支部 No.	本部 No.
代表者	応募者氏名・フリガナ 連絡先 (自宅)		会員種別※1 会員番号		所属 (勤務先、部課/学校、学年) 連絡先 (所属)
	フリガナ 氏名	種別 番号	会員		所属 (勤務先、部課/学校、学年)
共 同 制 作 者	フリガナ 氏名		種別 番号		所属 (勤務先、部課/学校、学年)
	フリガナ 氏名	種別 番号	会員		所属 (勤務先、部課/学校、学年)
共 同 制 作 者	フリガナ 氏名		種別 番号		所属 (勤務先、部課/学校、学年)
	フリガナ 氏名	種別 番号	会員		所属 (勤務先、部課/学校、学年)
共 同 制 作 者	フリガナ 氏名		種別 番号		所属 (勤務先、部課/学校、学年)
	フリガナ 氏名	種別 番号	会員		所属 (勤務先、部課/学校、学年)
共 同 制 作 者	フリガナ 氏名		種別 番号		所属 (勤務先、部課/学校、学年)
	フリガナ 氏名	種別 番号	会員		所属 (勤務先、部課/学校、学年)
共 同 制 作 者	フリガナ 氏名		種別 番号		所属 (勤務先、部課/学校、学年)
	フリガナ 氏名	種別 番号	会員		所属 (勤務先、部課/学校、学年)

注) 太線の枠内をご記入ください。

※1 : 応募資格は本会個人会員ですので、必ず会員種別と会員番号を記入してください。入会手続きは、本会ホームページで行えます。

<http://www.aij.or.jp>

※2 : タジマ奨励賞は、準会員の個人または準会員のみのグループが対象となります。対象者は、○をしてください。